



こどもの幸せを何よりも優先するまち

未来を担う子どもたちが幸せに暮らすこと。それが未来を生きるみんなの幸せにもつながっていくと考え、かけがえない家族の時間を大切にしながら、地域全体で子どもを第一に考えるまちづくりを進めます。

そのために、「子どもたちが安心して過ごせる居心地のいい場所があること」「安心して子育てができること」「子どもや子育て当事者の目線に立つこと」を重視しながら、切れ目のない子育て支援の充実に取り組みます。



切れ目のない子育て支援の充実



妊娠・出産期



乳児期



幼児期

学童期

【取組内容】切れ目のない子育て支援の充実

取組1 こどもたちが安心して過ごせる居心地のいい場所があること



- ・子育てや家事、そして仕事に追われる子育て世帯は、こどもの預かり場所を探すことに不安や負担を抱えています。安心して、確実に、こどもを預けられるように、保育士確保のためのインセンティブ対策や医療的ケア児の受け入れ体制整備など、受け皿の拡充に取り組みます。
- ・子どもたちや地域の方々が気軽に立ち寄れる、居場所や食事を提供しているこども食堂などを支援します。
- ・多様な働き方やライフスタイルにかかわらず、全ての子育て家庭に対し支援をしています。

- ◎ 保育士等の就職支援金制度・家賃補助制度
- ◎ 医療的ケア児保育支援事業
- ◎ 放課後児童クラブ（小学校6年生まで拡充）
- ◎ 子どもの学習支援を兼ねた居場所づくり事業
- ◎ 未就園児の一時預かり保育
- ◎ 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）

取組2 安心して子育てができること

- ・こども家庭センターを開設し、子育て支援を行う民間団体と協力しながら、妊娠期から子育て期の不安や悩みに対し、切れ目のない支援を行います。
- ・子育ての経済的な負担を少しでも軽減し、よりよい子育てへの投資ができるように、子どもの医療費助成制度の対象を、高校生年代までに拡充します。
- ・産後ケア事業を拡充し、出産後の心身のケアや育児サポートを行います。
- ・乳幼児健診を拡充し、乳幼児の健やかな成長と保護者の不安解消を支援します。

- ◎ こども家庭センターの開設
- ◎ 子どもの医療費助成制度拡充（高校生年代まで）
- ◎ 産後ケア事業の拡充
- ◎ 5歳児健診の開始



取組3 こどもや子育て当事者の目線に立つこと

- ・「どんな支援を受けられるか分からない」や「手続きのために仕事を休まなければならない」といった、市民からのご不満の声があります。子育て世帯に向けて、必要な情報をタイムリーに届けるプッシュ型の情報発信や、電子申請の実現に取り組みます。

- ◎ プッシュ型情報発信事業
- ◎ 子育てノンストップ事業
- ◎ プレママ&パパサロンの拡大
- ◎ おやこ健康手帳アプリ（仮称）の導入
- ◎ 放課後児童クラブ（DXでもっと便利に）